

東海・東南海・南海地震の被害想定

東海・東南海・南海地震が同時発生した場合、最大震度6強、市内全域で震度5弱以上の大きな揺れが発生し、地震発生から約2時間20分後に最大約3mの津波（満潮時の場合）が到達すると予測されています。このため、沿岸部を中心に浸水被害が発生することが予想されます。

<予測される津波高と津波到達時間>

地点	50cmの津波 が到達する 時間	最大	
		最高津波高 (満潮時)	津波到達 時間
河芸町中ノ川	約71分	2.63m	143分
岩田川	約66分	2.89m	145分
香良洲町雲出川	約57分	3.16m	138分

※この被害想定は、三重県の東海・東南海・南海地震（M8.7）に係る津波シミュレーション結果（平成16年3月時点）に基づくものです。また、発生頻度は極めて低いものの、さらに大きな規模の地震（M9.0など）への対応についても、基本的な対策は同じであるという考え方の下、本計画の見直しを行っていきます。



津波避難対策 ～津波からの避難～

津市地域防災計画「津波対策編」では、迅速かつ的確な避難ができるよう、市民の皆さんが避難するべきタイミングや避難行動など、津波が起きた時にとるべき基本的な行動を記しています。いざというときのために、事前に確認し、避難方法や避難場所などを考えておきましょう。

○避難勧告・避難指示が発令されたときは

被害の恐れが高まった場合などに、右表の基準をもとに、浸水が予測されている地域を避難の対象地域として、避難勧告・避難指示などを発令します。

避難勧告等が発令されたときは、防災無線をはじめ、広報車、報道機関などを通じてお知らせしますので、避難の対象地域の人は、速やかに避難しましょう。

避難勧告

- ▶ 強い地震（震度4以上）または長時間のゆっくりとした揺れを感じ、かつ、伊勢・三河湾予報区に津波警報が発令されたとき
- ▶ その他、災害対策本部長が必要と判断したとき

避難指示

- ▶ 伊勢・三河湾予報区に大津波警報が発令されたとき
- ▶ その他災害対策本部長が必要と判断したとき

津波から身を守るためには
まず避難を！